

# 社会福祉法人福德会役員等報酬規程

## (目的)

第1条 この規程は、社会福祉法人福德会（以下「当法人」という）定款第8条及び第21条の規定に基づき、役員及び評議員（以下「役員等」とする。）の報酬等について定めるものとする。

## (報酬等の支給)

第2条 役員等には、勤務形態に応じて、次のとおり報酬等を支給する。

- (1) 常勤役員については、報酬、賞与、退職手当及び通勤手当を支給する。
  - (2) 非常勤役員等については、業務に応じた報酬を支給することとし、賞与及び退職手当は支給しない。
- 2 常勤役員に対する退職手当は、役員として円満に任期を満了、又は辞任、死亡により退任した者に支給するものとし、死亡により退任した者については、その遺族に支払うものとする。

## (常勤役員の報酬等の算定方法)

第3条 常勤役員に対する報酬等の額は、次の各号による報酬等の区分に応じて定めるものとする。

- (1) 報酬については、別表第1に定める額
- (2) 賞与については、別表第2に定める額
- (3) 退職手当については、別表第3に定める算式により算出される額
- (4) 通勤手当については、職員賃金規程第14条の規定に準ずる額
- (5) 職務のため出張等をしたときは、職員賃金規程第36条の規定に準じて旅費を支給する。

## (非常勤役員等の報酬等の算定方法)

第4条 非常勤役員等に対する報酬等の額は、次の各号による報酬等の区分に応じて定めるものとする。

- (1) 報酬については、別表第4に定める額
- (2) 非常勤役員等が職務のために出張等をしたときは、職員賃金規程第36条の規定に準じて旅費を支給する。

## (当法人職員給与との併給)

第5条 当法人職員を兼ね、職員給与を支給している役員に対しては、本規程に基づく役員報酬等は支給しないものとする。

## (報酬等の支給方法)

第6条 常勤役員に対する報酬等の支給時期は、次の各号による報酬等の区分に応じて定める時

期とする。

- (1) 報酬については、毎月25日とする。ただし、その日が休日に当たるときは、職員賃金規程第6条に準じた日とする。
  - (2) 賞与については、毎年6月及び12月とする。
  - (3) 退職手当については、任期の満了、辞任又は死亡により退職した後3か月以内に支給する。
- 2 非常勤役員等に対する報酬は、当該会議に出席した都度、支給する。
  - 3 報酬等は、法令の定めるところにより控除すべき金額及び本人からの申し出があったときには、立替金、積立金等を控除して支給する。

(報酬等の日割り計算)

第7条 新たに常勤役員に就任した者には、その日から報酬を支給する。

- 2 常勤役員が退任し、又は解任された場合は、前日までの報酬を支給する。
- 3 月の途中における就任、退任、又は解任の場合の報酬額については、その月の総日数から土曜日及び日曜日の日数を差し引いた日数を基礎として日割りによって計算する。
- 4 本条第2項の規定にかかわらず、常勤役員が死亡によって退任した場合、その月までの報酬を支給する。

(公表)

第8条 当法人は、この規程をもって、社会福祉法第59条の2第1項2号に定める報酬等の支給基準として公表する。

(改廃)

第9条 この規程の改廃は、評議員会の承認を受けて行う。

(補則)

第10条 この規程の実施に関し必要な事項は、理事長が理事会の決議を経て、別に定めることとする。

附則 この規程は、平成29年4月1日より施行する。

別表1 (常勤役員の報酬)

役職名	報酬の額
理事長	月額 720,000 円
理事	月額 480,000 円

別表2 (常勤役員の賞与)

6月の賞与	報酬月額×2か月
12月の賞与	報酬月額×2か月

別表3（常勤役員の退職金算定式）

最終報酬月額×在任年数
-------------

※上記在任年数は1か年単位とし、端数は月割りとする。ただし、1か月未満は1か月に切り上げる。

別表4（非常勤役員等の報酬）

(1) 評議員

	報酬の額
評議員会への出席	日額 15,000 円
上記の他、法人及び施設業務のための出勤	時間 5,000 円

(2) 理事

	報酬の額
理事会への出席	日額 15,000 円
上記の他、法人及び施設業務のための出勤	時間 5,000 円

(3) 監事

	報酬の額
監事監査会への出席	日額 20,000 円
評議員会・理事会への出席	日額 15,000 円
上記の他、法人及び施設業務のための出勤	時間 5,000 円